

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和46年		根拠法令・例規等				
総合計画	大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり		問	担当課(室)	総務課		
	中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営			答	職・氏名	係長 藤田 政宣	
	小項目	施策	13	その他事務管理(秘書)			合	電話	0869-64-1800	
事務事業名		03		渉外・秘書事業		このシート作成に要した時間		1.0 時間		

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市長・副市長及び関係者		
目的(何のために)	市長、副市長が会議、行事等に円滑に出席し、関係者との適切な協議、交渉を行う。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市長、副市長の職務が円滑に最大限発揮されること		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	渉外事業	関係者等との協議が円滑に進むように調整を行う	
	秘書事業	市長、副市長の日程調整を事業が円滑に進むように調整を行う	
	諸請願、陳情、要望関係事業	要望等を受付、各担当に対応を依頼し、適切に要望者等の期待に応えるように調整を行う	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	直接事業費	千円	5,326	4,919	4,454	
	必要人員費	人件費	1.52人	11,396	1.47人	11,272
	事業費	千円	16,722	16,191	12,900	
	国庫支出金	千円				
	受益者負担					
	繰入金					
	市債					
	その他()					
	一般財源		16,722	16,191	12,900	
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績		
結果指標量	説明	市長、副市長の日程調整				
対前年比	%	1,459	1,258	903		
活動コスト	円	-	86.2%	71.8%		
単位当たりコスト	円	10,828,000	11,272,000	8,446,000		
		7,422	8,960	9,353		

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
	目標値(A)					到達目標値
	実績値(B)					
達成率(B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	A	
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い			
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	B	
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い		

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	平成25年度4月24日から新市長が就任となったが、従来通り、市長、副市長の職務が円滑に行えるよう調整を行っている

総合評価		Action	
市長、副市長の日程調整及び関係者との円滑な協議、交渉等の場を設定し、その職務が最大限発揮できる環境を整えることが最善である。調整の誤りが市政運営に影響を及ぼす恐れがあることから、限られた人員で最善の調整に努めることが重要となっている	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	B	

平成26年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	関係各所との連携を強化することで、市長および副市長の職務遂行のため、より円滑な日程調整を図る。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら